

1 主題（2/3年次）

「学力向上に向けた学習習慣と基本的な生活習慣の形成を図り、
さらに充実させるための小中連携の在り方」

2 主題設定の理由

(1) 「連携」の趣旨に基づいて

「中一ギャップ」を解消し、小学校から中学校への滑らかな接続を図ることにより、義務教育9年間を通じた系統的な学習指導による学力向上

◇系統的な学習指導の中心は『ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり』

(2) 南浜中学校区の児童生徒の実態から

① 児童生徒を取り巻く現状

これまで学習習慣形成のため「南浜授業の約束」「南浜家庭学習の約束」を設定し、小学校と中学校の連携、学校と家庭との連携によって推進してきた。また、基本的な生活習慣の基本はあいさつであるという共通認識のもと、保・小・中が同一歩調で、家庭・地域にも呼びかけ、南浜地区一体となった「南浜さわやかあいさつ運動」を推進してきた。

最近では少子化が顕著に進み、本学区では、教職員数の減少、複式学級の増加、部活動の再編成など、年々学習環境が変化している。そこで、児童生徒が安心して学校生活を送り、一人一人が目標を持って自ら努力し、達成感を味わいながら学ぶ学校環境、学習指導、生徒指導の在り方が今課題となっている。

② 基本的な学習習慣など学習面にかかわること

南浜中学区の学力の実態をふまえ、特に学力向上について小中連携した取組が必要であるとの認識の元、平成26年度から小中各校において、家庭学習の習慣化と基礎的・基本的内容の確実な定着に取り組んできた。「伝え合う姿勢」「自主学習ノートの内容の充実」についてはまだ課題が残るため、家庭との連携を図りながらこれまでの取組の検証とその改善が必要である。

③ 基本的な生活習慣にかかわること

平成19年度から重点的に取り組んできた「あいさつ、正しい言葉遣い」については、改善が見られるようになってきたが「相手のことを考えた伝え方」については不十分であるため、今後も家庭・地域と連携して取り組みたい。児童生徒が、学校生活全般の中で意欲と目標をもち生き生きと活動することを通して、あいさつや受け答えを自ら積極的に行う態度を養いたい。

(3) 家庭や地域の願いから

南浜中学校区では児童生徒のよりよい成長を願い、様々な団体と連携して活動している。南浜地区青少年生活指導協議会が主催するスポーツ大会、南浜地区防犯協会が主催する防犯レクリエーションなど、南浜地区全体が児童生徒の健全育成への関心が高い。これらの地域の力を生かし、地域密着型教育との関連を図りながら児童生徒の健全育成に取り組む必要がある。

(4) 小中連携を通してめざす児童生徒像及び教職員像

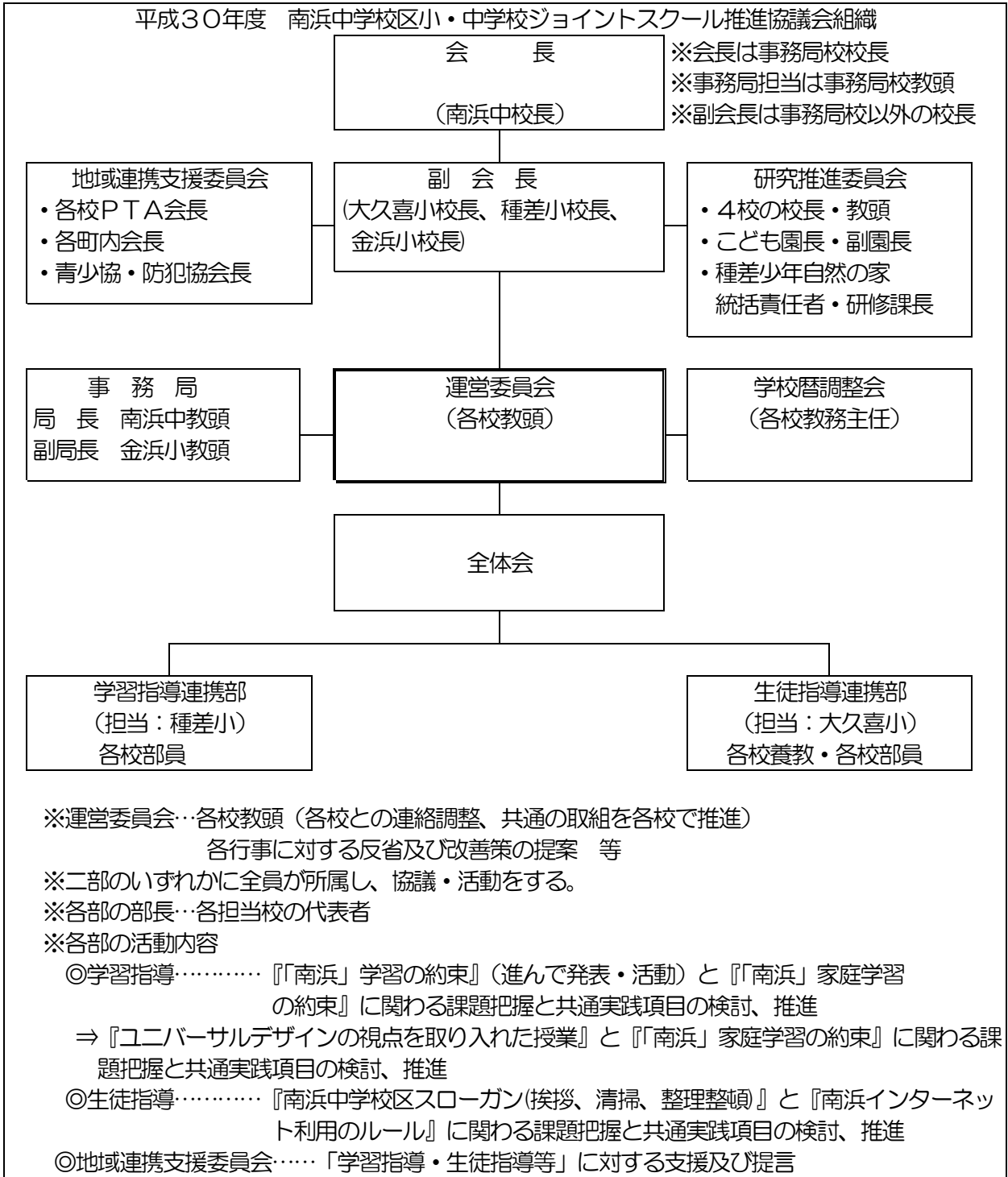
〇めざす児童生徒像

- ・意欲的に学習に取り組む児童生徒
- ・自己を律し友達と協調しあって行動できる児童生徒
- ・目標に向かって主体的に努力する児童生徒
- ・生まれ育った地域に愛情と誇りをもつ児童生徒

〇めざす教職員像

- ・広い視野をもち、長期的視点に立って児童生徒を指導できる人間性豊かな教職員
- ・教育の専門家としての確かな力量をもち、常に学びつづける教職員
- ・児童生徒、保護者、地域住民に信頼される教職員

3 小・中学校ジョイントスクール推進事業を推進するための組織



4 中学校区の重点指導項目

南浜中学校区 重点指導項目	
(1) 自主学習ノートを活用させ、家庭学習習慣を身に付けさせる	(学習指導連携部)
(2) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を推進する	(〃)
(3) 外国語(英語)教育の連携を図る	(〃)
(4) 南浜中学校区スローガン(挨拶、清掃、整理整頓)を達成させる	(生徒指導連携部)
(5) ネットモラルについて計画的に指導する	(〃)